

宝物がつまった博物館がオープン

～佐山小学校～

佐山小学校に「ちびっ子博物館」が開館し、10月27日にオープニングセレモニーが行われました。

県立琵琶湖博物館が、空き教室を利用して学習に役立つミニ博物館を作る「学校サテライト博物館事業」に同校が選ばれたもので、県内2校目となります。

セレモニーでは、全校児童から募集し決定した博物館の名称とシンボルマークの発表や、テープカットが行われました。

式典後、早速博物館を見学した6年生の児童は、魚のはく製や化石の標本などに興味津々。また床面いっぱいに広がる琵琶湖地域の航空写真から、自分の家を探す児童もいました。

同館は平成22年3月まで開館の予定です。同校児童

だけでなく、市内の他校の子どもたちや地域の皆さんにも親しまれる博物館をめざします。問い合わせは佐山小学校（TEL88-4077）まで。



▲ブラックバスのはく製に興味深く見学する児童

全校児童がオペレッタを熱演

～多羅尾小学校～

今年で21回目を迎えた多羅尾小学校の全校オペレッタが11月1日、陶芸の森で上演されました。

今年の作品は「美女と野獣」で、台本やせりふは児童の手作り。1学期から練習を始め、休み時間や夏休みも惜しんで、全校児童9名が一丸となって励んできました。

本番ではそれぞれの役になりきった児童らが、作品のテーマである「人を外見で判断しないこと、優しさや誠実さ、本当の幸せとは何か」を訴えかけるように熱演し、満席となった会場からは拍手が沸き起こりました。



▲全校9名によるオペレッタ「美女と野獣」



子どもたちの力作が勢ぞろい

市青少年美術展

子どもたちの多彩な作品を展示する甲賀市青少年美術展が、10月31日から11月2日まであいこうか市民ホールで開催されました。

立体、書写の作品約700点が展示されました。訪れた家族連れは、自由な色使いで描いた絵画や、木の実や紙パックなどの廃材を利用した工作など、想像力あふれる力作に見入っていました。



▲子どもたちの作品が並んだ青少年美術展

地域で創立100周年を祝う

～甲南第三小学校～

このほど甲南第三小学校が創立100周年を迎え、10月12日に記念の式典が開催されました。

同校は、明治41年10月7日に宮尋常小学校として開校、その後、宮国民学校、町立小学校となり、現在まで多くの卒業生を送り出してきました。

記念式典には、学校関係者とともに地域住民の皆さんも出席、地域の発展とともに歩んだ100周年を祝いました。

当日は、在校児童全員による詩の朗読、甲南中学校ブラスバンド部などによる記念アトラクションが行われたほか、学校前には、沿革と校歌が刻まれた記念碑が建てられました。また同校の卒業生でもある画家からは、カワセミを描いた水彩画が寄贈され、式典で披露されました。

同校は、今後も子どもたちの笑い声と笑顔が絶えない学び舎として地域に愛され続けることでしょう。



▲記念碑(右の前)で100周年を祝う皆さん

土と炎の里信楽で、今年も信楽陶器まつりが、10月11日から13日の3日間開催されました。この催しは、土と共に生きる陶都・信楽で、大自然の恵みへの感謝と地場産業の振興、発展を願い開催。期間中は、信楽焼の新作の発表会となる信楽陶器総合展や信楽陶器まつり大陶器市、信楽焼伝統工芸士による絵付けやロクロ、手ひねりなどの実技などが行われ、

多くの観光客でにぎわいました。また、大陶器市の会場の食のコーナーでは、甲賀のもちのブースなども設けられ、信楽焼だけでなく、市内の特産品も販売されました。歴史と伝統を大切に守り続けられながら、多彩な陶器を創り出してきた信楽。信楽焼は、今後も生活文化への提案が期待されています。



▲にぎわいを見せる信楽陶器まつり大陶器市

一面のコスモスに
囲まれて

JR甲賀駅を出発点にしたふれあいハイキングが10月19日、行われました。

これは、甲賀駅を育てる会・甲賀町商工会・甲賀町観光協会が共催で企画したもので、当日は兵庫県・奈良県など遠方から参加した80名が、秋晴れの日を満喫しました。

今回は、甲賀町神区の転作田を利用した約2ヘクタールのコスモス畑や、日本最大座像の木造十一面観音が安置された樺野寺、常光寺などを訪れ、観音の里を県外へもPRしました。

お昼には、地元特産品の鹿深みそを使ったみそ汁や鉄砲漬けなども振る舞われ、満開のコスモスに囲まれて味わう昼食は参加者にも好評でした。

また10月22日には、大原幼稚園児50名が歩いてこのコスモス畑を訪れました。(表紙写真)



▲樺野寺で休憩するウオーキング参加者